



広報

みほ

8年 **8**月



キャンプファイヤーのーコマ

宿泊研修で 自然とふれあう

町教育委員会・町子供会育成会連絡協議会共催の児童文化教室（宿泊研修）が8月1日から3日までの3日間、嘉陽が丘ふれあい広場で開かれ、町内の小学生約80名が参加しました。

これは、子どもたちが宿泊研修をとおして「自然に親しむ子ども」、「体も心も強い子ども」、「なかよくくらする子ども」に育つことを目的に毎年開催されているもので、町子連の役員さんやJLC会員の皆さんの指導のもと、野外炊飯、キャンプファイヤーなど、楽しみながら爽り多き3日間を過ごしました。

寝たきり老人ゼロをめざして

壬生町在宅介護支援センターを開設しました

町では、「壬生町在宅介護支援センター」を7月18日、老人保健施設みなと荘内に開設いたしました。

これは、壬生町高齢者保健福祉計画に基づき、在宅の要援護老人及びその介護者などの介護に関する総合相談や町の保健福祉サービス（デイサービスなど）の施設利用に関する連絡調整などの介護支援を行うものです。ぜひ、ご利用ください。（無料）

在宅介護支援センターの業務について

在宅介護支援センターは、おおむね65歳以上の寝たきり老人、介護を要する痴呆性老人、疾病等により身体が虚弱な老人など、身体上又は精神上的の障害があつて日常生活を営むのに支障がある老人等の介護者などに対して、次のようなサービスを行います。

◎サービス内容

○在宅介護に関する各種の相談に対し、電話、面接等により介護に関する総合的な相談を、24時間体制で専門職員が応じる



専門の職員が24時間体制で相談に対応します

○町の行う保健福祉サービス（デイサービス、ショートステイ、ホームヘルプサービスなど）の申し込み受付、利用施設に対する連絡調整を行う

○要援護老人を抱える介護者や福祉委員（民生委員）より連絡を受けた場合、訪問等により在宅介護の方法などについて指導、助言を行う



介護機器を展示し、相談に応じます

・社会福祉法人栃の木会みなと荘内
壬生町在宅介護支援センター

壬生町大字北小林812番地 ☎86-3579



オープン以来の

入場者100万人を突破

昭和61年7月21日のオープン以来、流水プールや数種類のスライダープールなど、幼児から大人まで安全で楽しめるプールとして、毎年、町内外から大ぜいの利用者にぎわっている黒川の里ふれあいプールの入場者が7月24日、100万人を突破しました。100万人目になったのは、宇都宮市の裏野浩史くん（宇都宮市立若松原中学校1年）で、入場と同時にふれあいプール係員から100万人目を告げられびつくり。お祝いに集まった大ぜいの入場者を前に清水町長とくす玉を割り、クーラーボックスやプールの回数券などがプレゼントされました。

当日、浩史くんは

弟さんとお友だちの3人でプールに来たそうで、「毎年、何回も来ていますが、僕が100万人目になってとてもうれしいです」と喜んでいました。

また、前後賞は六美町南部第一の押田未希さん（壬生東小学校3年）と宇都宮市の菅原 武くん（若松原中学校1年）で、2人にもクーラーボックスやお菓子のセットが贈られました。



入場者百万人目となった裏野くん（右）と清水町長



毎年大ぜいの人でにぎわふれあいプール

今井バイパスの整備促進を要望

栃木県議会土木委員会が現地調査

栃木県議会土木委員会（荒井光夫委員長ほか8名）と県関係者の一行が7月25日、現地調査のため来町されました。

今回、現地調査を行ったのは、主要地方道宇都宮・栃木線（惣社今井バイパス）で、本路線は、県都宇都宮と県南西部を結ぶ主要道路であり、交通量が多く、特に朝夕の通勤時間帯には、交通渋滞をきたしております。

このため、壬生バイパス延長による栃木市の惣社バイパスに通じる区間（1、950m）の整備促進を要望しました。

この日の現地調査には、町から清水町長ほか町執行部並びに地元の佐藤県議、町議会から糸川議長、葭葉建設水道常任委員長が出席、清水町長が現地の状況と要望路線

の説明をし、本区間の整備促進をお願いしました。

なお、このほかに次の4か所の整備促進も要望しています。

- ① 街路整備
国谷地内の県道宇都宮・栃木線
延長2、000m
- ② 道路改良
鯉沼・国谷地内の県道羽生田・上蒲生線
延長1、000m
- ③ 河川環境整備
1級河川黒川（黒川橋く地蔵橋間）の環境整備
- ④ 道路整備
助谷・国谷・福和田地内の県道上田・壬生線
延長3、000m



要望事項の説明を行う清水町長



（惣社今井バイパス）

北関東自動車道 本工事に着手



鎌入れの儀式を行う清水町長

群馬、栃木、茨城三県を結ぶ、北関東自動車道の本工事（六美西工事区）の安全祈願祭が7月29日六美地内で行われました。

これを皮切りに、他の工事区においても随時着手されていきます。

有事に備え 町消防団夏季点検を実施



火災などの非常時に対応し、防災活動に万全を期すため、町消防団（梁島安男団長、団員203名）の夏季点検が8月1日、町総合運動場で行われました。

点検は、清水町長の点検者宣言によって開始され、梁島団長の指揮のもと、人員並びに服装点検、機械器具点検、町消防団並びに10月24日の全国婦人消防操法大会に出場する町婦人消防隊（大畑トシ隊長、隊員7名）によるポンプ操法など、暑さにも負けずキビキビした動作で展開され、点検者から「さわめて良好である。9月4日の県防災訓練に向けて、日ごろの練習の成果を発揮してほしい」との講評訓示がありました。

消防団は、住民の尊い生命と財産を守るため、日ごろより訓練に励んでいます。郷土愛の精神で活動する消防団にご支援をお願いいたします。

農業委員 23名決まる

任期満了に伴う農業委員会委員

統一選挙が7月2日に告示され、

同日午後5時、届け出を締め切り

ましたが、定数18名（壬生選挙区

5、稲葉選挙区6、南犬飼選挙区

7）と届け出18名のため、無投票

となりました。

また、町議会（学識経験者）並

びに農業共済、農業協同組合の推

薦5名を加え、新しい農業委員会

委員は、次の23名の方々に決ま

りました。

《選挙》

- ・戸崎 良男（藤井）
- ・落合 伸造（上表町）
- ・出井 義男（西高野）
- ・葭葉 一男（下馬木）
- ・篠原 正利（藤井）
- ・赤塚 良一（羽生田）
- ・黒子 曙（上稲葉）
- ・高橋 俊雄（下稲葉）
- ・山崎 文吉（福和田）
- ・高村 一夫（七ツ石）

《選任》

- ・清水 国雄（羽生田）
- ・倉持 保弘（北小林）
- ・中村 一雄（中泉）
- ・篠原 俊夫（安塚）
- ・田中 一男（落合二丁目）
- ・大関 富司（上田）
- ・浜野 信三（安塚）
- ・吉葉 一久（国谷）
- ・篠原 富太郎（議会・六美町）
- ・神長 信雄（議会・上稲葉）
- ・糸川 善夫（議会・助谷）
- ・篠原 義惟（農協・羽生田）
- ・高山 欣也（共済・国谷）



栃木県総合防災訓練に 参加しましょう！！

地震などにより火災が発生したときに消火器の使い方が分からなければどうしようもありません。

初期消火、避難方法など非常時の防災行動力と知識を身につけておくことが必要です。

次の日程で、県・町主催の総合防災訓練が行われますので、積極的にご参加ください。

◆日時 9月4日(水) 午前8時10分～

◆会場 羽生田地内 黒川河川敷

(黒川の里ふれあいプール西側)

教育交流懇談会及び県教育長と語る云

さまざまな職業の方から
教育についての意見を聴く

県・町教育委員会共催による教育交流懇談会及び県教育長と語る会が7月8日、町生涯学習館で行われました。

これは、教員がさまざまな職業に携わる民間の方々との交流を通して視野を広め、資質の向上を図るとともに、学校教育及び教育行政についての意見を聴く会で、今年度は、県内7市町で開催されています。

本町では、8名の民間の方々それぞれの立場で職業観、人生観

などを通して教育全般に対する熱い思いを述べられ、参加者一同深い感銘を受けました。

また、懇談会に先立ち、石川格県教育長ほか県教育委員会関係者が壬生小学校を訪れ、授業や施設を参観されました。屋内プールで元気に泳ぐ子どもたちの姿に、「学びあい 喜びあい はげましあおう」をスローガンとした『いきいき栃木っ子3あい運動』が自主的に推進されているようすをご覧になりました。

懇談会のようす



資料館コーナー

郷土の人々

「近世壬生の画人たち」(四)

松本 甘暁(まつもと かんぎよう)

1814年(文化11)～1896年(明治29)

諱は基君、字は順蔵といい、世襲名は庄兵衛と称しました。文化11年壬生に生まれました。

当時の松本家は本陣(江戸時代における身分の高い人たちの宿所)を営み、基君は9代目で名主役を勤めていました。

甘暁は多趣味で、書、漢学、詩文を学び特技の須磨琴(二弦琴)は壬生藩主・鳥居忠宝も師事したといえます。

甘暁は、明治29年9月29日に83歳で没しました。菩提寺は、壬生・興光寺。

辞世

松本能嗣子都義つぎ栄えよと千代萬代も守り守ら舞

甘暁と称しましたが、晩年は甘暁隠者を好んで用い、年齢なども長寿を望んで、意図的に高齡を記した作品もあります。



龍図(白石誠治氏寄贈品)

甘棠に師事したの

で、画風も同様に狩野派系から、南画の折衷表現、そして沈南蘋の長崎系の精密な写生体への興味も強く、趣味人故に多彩な画風を自由に展開させています。

今回は、高須煥斎です。



秋の全国交通安全運動

9月21日～30日

あぶない！
飛び出し 事故のもと

必ずシートベルトを
着用しましょう

自動車乗車中の交通事故死者の多くは、シートベルト非着用であり、シートベルトを着用していれば相当の方が助かったとされています。

ドライバーと同乗者は車に乗ったら必ずシートベルトを着用する習慣をつけましょう。幼児等を車に乗せるときは、チャイルドシートを利用するようにしましょう。

シートベルトの着用効果について、家族みんなで話し合ひましょう。

心身障害児・者宿泊訓練

障害者と健常者の 理解と交流を深める

町社会福祉協議会主催による、平成8年度壬生町心身障害児・者宿泊訓練が7月30、31日の両日、町心身障害児・者親の会の協力を得て、町嘉陽ヶ丘ふれあい広場などで行われました。

当日は町内に住む心身障害者や壬生高校JRC部員など約60名が参加、参加者全員で輪になって自分と次の人を紹介する紹介ゲームの後、バーベキューやボウリング大会などが行われ、相互のふれあいを深めました。



チームライフルのようす

スポーツを通じて 交流を図る

町身体障害者福祉会（田中一男会長）主催による障害者スポーツ教室が7月21日、町総合運動場および体育館で行われました。

この教室は、スポーツを通じて日ごろの運動不足を解消し、参加者間の交流を深めることを目的として行われたもので、光線銃を使つて的を当てるチームライフル、

鉄球を投げて標的にどれだけ近付けるかを競うベタンク、フリスビーを投げて輪の中を通すフライングディスクアキュラシーなどのスポーツで、約2時間にわたり爽やかな汗を流しました。

道路愛護功労者表彰

本郷七福会が県知事表彰 荒川、鈴木両氏が 県道路愛護連合会長表彰

を受け取る

平成8年度栃木県道路愛護会総会が7月1日、栃木会館で行われ、その席上、七ツ石本郷老人クラブ

七福会（小野口終平会長）が栃木県知事表彰、ならびに前藤井万年青会長の荒川政雄氏、松原老人クラブ会長の鈴木平治氏の両氏が栃木県道路愛護連合会長表彰を受けられました。

これは、多年にわたり地域内の国、県、町道の空き缶拾いや清掃を定期的の実施しているほか、道路沿いの花壇に草花を植え、道路

業績

栃木県知事表彰

○七ツ石本郷老人クラブ七福会

昭和37年から定期的に地域内の国道および町道の空き缶拾いや清掃を行うとともに、国道352号線の花壇内400mにサルスベリ、マリーゴールドの草花を植え、地域の道路美化につとめている。

○荒川政雄氏

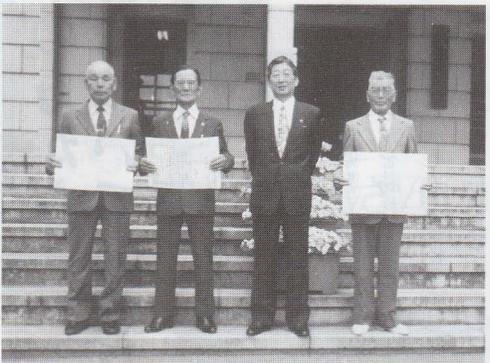
平成7年度まで藤井万年青会長をつとめ、地域内の国道および町道の空き缶拾いや清掃を事業の一環として多年にわたり定期的に行うとともに、町道53号線の花壇内400mにコスモスなど各種の草花を植え、地域の道路美化につとめている。

○鈴木平治氏

松原老人クラブの会長として地域内の国道および町道の空き缶拾いや清掃を事業の一環として多年にわたり定期的に行うとともに、国道352号線の花壇内150mにパンジー、葉ポタなど各種の草花を植え、地域の道路美化につとめている。



紹介ゲームのようす



写真右から小野口七福会会長、清水町長、荒川氏、鈴木氏

「存じですか」公証制度

重要な契約や遺言の際に役立つ

不動産売買などの契約書や遺言書の証拠力を強め、のちのトラブルを防ぐために設けられている「公証制度」をご存じですか。法律のプロである公証人が、法的に特別の証拠力が認められている文書「公正証書」を作成することにより、皆さんの大切な取引や財産の安全の確保を図っています。

不動産の売買や金銭の貸し借りなどの重要な取引をしたり、遺言を残したりするときには、多くの場合、契約書や遺言書をつくり、文書として残します。しかし、せっかく作成した文書でも、後日、当事者間でトラブルが発生してその内容が争われたり、法律的に見て内容が不明確なために紛争が生じたりすることがあります。そこで、こうした重要な契約書や遺言書を作成する場合には、のちのちのトラブルを防ぐためにも「公証制度」の利用をお勧めします。

金銭の貸し借りなどにも役立つ公証制度

公証制度は、当事者のほかに公証人がかわり、法律的に見て有効な文書「公正証書」を作成することで、皆さんの大切な取引や財産の安全の確保を図っています。

法務大臣から任命される公証人は、裁判官や検察官、法務局長などを長く努めた、いわば法律のプロです。公証人が作成した公正証書には、法律によって一般の私文書に比べ強い証拠力が認められています。公正証書は、不動産の売買や金銭の貸し借りなどのほか、交通事故の損害賠償や離婚時の慰謝料など、重要な契約を取り交わすときに大きな役割を果たします。

また、最近では遺産をめぐっての争いを防ぐために、遺言公正証書を作成する人が増えています。そのほか、会社設立の定款や私文書の認証などで公証制度が利用されています。

公証制度に関する相談は公証役場で

公証制度についての相談や公正証書の作成は、公証役場で受け付けています。相談や文書の内容についての秘密は厳守され、完成した公正証書の原本も厳重に保管されます。ですから、紛失したり、書き替えられたり、あるいは勝手にみられたりすることはありません。

10月1～7日は「公証週間」です。この期間中には、公証役場で無料公証相談所が開設され、公正証書に関する法律相談を行っています。

重要な取引に関する契約書や遺言書などでお悩みの方は、最寄りの公証役場にご相談ください。

◆問合せ先

- ・日本公証人連合会
☎03-3502-8050
- ・宇都宮公証人合同役場
☎028-622-9876

家庭の地震対策へ図解

WAKE UP! 地震の行動ヒント集

火災を防ぐ①

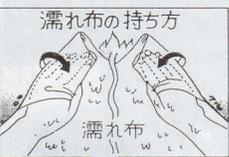
地震による被害を最小限度に食い止めるためには、火災を起こさないことが、とても重要です。では、実際、火を使っているときに地震が起きたらどのように対処すればよいのでしょうか。

「地震だ火を消せ」と初期消火

「地震だ、火を消せ!」の言葉どおり、揺れを感じたらすばやく火の始末をすることです。台所など火の近くにいたときは、すぐに消すようにしますが、消火のためにわざわざストーブなどに近づくことは、かえって危険ですので、そういった場合は、揺れが収まってからにします。

て使えます。ビールを思いっきり振ってかければ立派な「泡消火器」になります。また、浴槽の水も役に立ちます。この場合、近くに手ぼうきなどがあつたら、素早く水に濡らして掃き消すという方法もあります。

濡れ布を使う……天ぶらなべの火災は、うつかり水をかけると油が飛びはねてしまい、かえって火の勢いが強まり危険です。水に濡らしたシーツなどを使い、上から覆いかぶせて消します。このとき注意したいのは、手を火の方へさらないようにすること。布の端で手を覆うことによりやけどは防げます。この方法は、ストーブ火災にも応用できます。



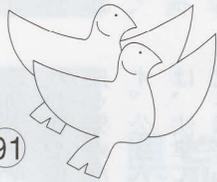
い 広 場

青 春 ス ケ ッ チ



お 達 者

カ ッ プ ル ⁹¹



下 横 町
外 山

定三さん(80) 夫妻
ちいさん(76)

「ゲートボールで、体を動かすのが健康の秘訣かもしれません」といふ外山さんご夫妻。



定三さんは茨城県関城町の出身で、地元の砂利関係会社に勤めていた昭和15年2月に、茨城県麻生

海 の きれいな 所 に 住 ン だ ー 米 たい

国 谷 中 央 大 栗 和 代 さん

「マリンスポーツが好きで、今年からボディボードを始めようと思っています」という和代さん、「休みの日は友だちとのドライブやカラオケなどのほか、温泉地などへの旅行にもよく出掛ける」ということです。

海が好きという彼女、「いつか海のきれいな所に住んでみたいですね」と夢を話してくれました。

壬 生 小 五 年 諸 江 美 奈 子

電 速 車 い

私 の 作 品



「グアナコ、アノア、バーラルって」

壬 生 小 学 校 2 年

稲 葉 真 之



壬 生 小 学 校 5 年
諸 江 美 奈 子



あれふ

船越 聡くん 疋田拓也くん

が世界大会出場



写真2番目から荒川さん、船越君、疋田拓也君、疋田周二さん

町出身で実家の瓦製造を手伝って
いたちいさんと結婚され、翌昭和
16年に壬生町の小倉川砂利株式会
社へ砂利採集船の技術者として、派
遣されたのを機に壬生に住まわれ
たそうです。

しかし、昭和18年に召集により
満州へ、翌19年にはトラック島に
渡り、現地で終戦を迎え昭和20年
12月31日に帰国しました。

帰国後、再び小倉川砂利株式会
社に勤務され、昭和56年まで勤め
られました。

定三さんは、退職後に旅行好き
な人で組織された東雲会に入会さ
れ、お二人して出掛けるのが楽し

みだそうです。

お二人は、ゲートボールが好き
で週3回の練習にはほとんど欠か
さず出ているそうで、二人して出
場した平成6年度栃木地区ゲート
ボール大会で優勝したのがよい思
い出になっているそうです。

ちいさんは、ゲートボールのほ
か、野菜なども趣味で作られてい
るそうで、自宅で食べる野菜はす
べて作っているとのこと。

これからも「二人して東雲会の
旅行やゲートボールを健康維持の
ために続けて行きたい」と話して
いました。

学1年の頃に町体協のチビッ子レ
スリング教室に入部、練習に励み
高校進学後も互いによきライバル
として腕を磨き合っていました。

そして、5月に横浜市で行われ
た全日本ジュニアレスリング選手
権に、船越君がフリースタイル54
kg級、疋田君がグレコローマン
スタイル83 kg級に出場、共に優勝し
日本代表に選ばれたものです。

また、二人のコーチである荒川
善咲さんがカデットレスリング選
手権の日本選手団の監督、町体協
レスリング部長の疋田周二さんが、
日本選手団の団長をつとめられます。

チビッ子アルバム



ゆうすけ
裕輔ちゃん(2歳)

(父) 山田 幸雄さん (城内)
(母) 〃 喜代子さん

お母さんから一言
元気でやさしい子になってほしい。



しょうた
翔大ちゃん(3歳)

(父) 渡辺 賢治さん (上長田)
(母) 〃 道代さん

お母さんから一言
元気でやさしい子になってね!

「チビッ子アルバム」に出してくれるお子さんを募集しています。ご希望の方は、写真に簡単なメッセージを添えて町企画財政課広報聴係(☎82-1234 内線212)までお送りください。

永倉 恭子さん (MT車の部) 石澤 裕子さん (AT車の部)

が優勝

道路交通法に定められた通行方法に従った正確な通行ができるかを競う町交通安全協会並びに町女性ドライバークラブ共催の「第15回壬生町安全運転競技大会」が7月12日、壬生自動車学校で行われました。

自動車学校検定員のきびしい審査に挑んでいました。

成績

《MT車の部》

優勝 永倉 恭子 (下表町)

準優勝 越路 治美 (釜ヶ淵)

《AT車の部》

優勝 石澤 裕子 (上表町)

準優勝 大橋 葉子 (東下台)

競技は、MT車とAT車の部に分かれ、進路変更や右折、左折など「運転免許技能試験実施基準」に基づいて実施され、選手たちは、

なお、成績上位者は9月2日、栃本自動車教習所で行われる栃木

地区女性ドライバー安全運転競技大会に出場します。



入賞のみなさん

老人ホームの花壇に 草花を植える

壬生町造園業協同組合(橋本敬司理事長)では、地域への奉仕活動として7月3日、特別養護老人ホーム「しもつけ荘」(北小林)の花壇に草花を植えました。

当日は、組合加盟7社から代表者1名ずつが参加、持参した二チニチソウやディアブロなど約1,000鉢が6カ所の花壇に植えられ、鮮やかに彩られた草花がお年寄りの目を楽しませていました。



自治会発足10周年記念 運動会を行う

駅東自治会(伊藤歸一会長)では、自治会発足10周年記念サマーフェスティバルとして、運動会を

7月20日に駅東児童公園で行いました。

当日は、家族連れなど自治会員約200名が参加、4チームにわかれての対抗戦が行われ、子どもからお年寄りまで、ムカデ競走や玉入れなどの競技を楽しみました。

本行事は、自治会員相互の親睦を図るとともに、健全な環境づくりを推進し、青少年育成と明るく住みよい自治会をつくることを目的としており、例年は夏休みにあわせて親子ソフトボールやソフトバレーボール大会などを実施しています。



東雲児童公園などを清掃

町商工会婦人部(林光代部長)では7月19日、東雲児童公園や東雲橋河川敷などの清掃を行いました。

これは同婦人部の環境美化運動として毎年行



われているので、この日は同婦人部役員約30名が参加、早朝から約3時間におたり空き缶やゴミ拾いなどを行い、地域の環境美化につとめました。

安塚フロンティアが2年連続優勝

第15回壬生町学童少女ソフトボール大会が6月23日・30日の2日間にわたり、町総合運動場において、町内の学童少女6チームが参加して行われました。

30日の決勝戦には安塚フロンティアと壬生北クラブが駒を進め、確実に点を重ねた安塚フロンティアが壬生北クラブを8対0で破り、昨年に引き続き2年連続優勝を果たしました。

なお、両チーム並びに3位の稲葉クラブは8月4日から行われた第24回栃木県学童少女ソフトボール大会に出場しました。



優勝の安塚フロンティア

夏祭りカメライラスト①



八坂祭(7月7日~16日)
力強く、迫力あるみこしが練り歩き大ぜいの人で賑わいました。

相撲大会が復活

毎年8月1日に行われている風祭(雄琴神社)の奉納相撲大会が地元自治会などの協力で29年ぶりに復活し、とお里まち保育園児や飛び入りの子どもたちが張り切って相撲をとっていました。



炎暑のなか

清掃作業に汗を流す

壬生町少年剣道教室



壬生町少年剣道教室(三上義市師範)と同育成会(金田孝雄会長)では8月4日、東雲児童公園と慰霊碑周辺の清掃を実施しました。
当日は同教室生徒と育成会の父母約60名が空き缶やゴミ拾いなど2時間にわたり奉仕作業を行い、勤労の尊さを体験するとともに、先の対戦で国に殉じた本町出身者の英霊に対し敬意の念を捧げました。

老いも若きも一緒に

盆踊りを楽しむ



社会福祉法人栃の木会主催の第11回栃の木会盆踊り大会が7月27日、獨協医科大学グラウンドで行われました。

今回から会場を獨協医科大学グラウンドに移し、地元北小林自治会、老人クラブ、生活改善クラブ、五段囃子保存会、育成会や壬生町婦人会、農協婦人部、ひまわり会、藤井かんぴょう音頭保存会、美佐恵会、壬生高校JRC部、国谷幼稚園の協力を得て行われました。

大会は、国谷幼稚園児によるマーチングバンドで幕を開け、施設のおじいちゃん、おばあちゃんや協力団体のみなさんがいっしょになって、櫓の回りに幾重にも輪をつくり、かんぴょう踊りをおどし、夏の夜のひとときを楽しみました。
また、町及び石橋町の民生委員さんや両町の職員、各種協力会によるかき氷、やきそばなどの模擬店が出版され、お年寄りや参加者たちに喜ばれていました。



文化協会文芸部選

短歌

眼科なれば本もテレビも置いてなく診療待ちの時間の長し
茂木 富美

外来語はびこる今に石鹸をシャボンと言いつて笑われにけり
黒尾 壮

トンネルを抜ければぼつとして偲ぶ余市古平の崩落事故を
曾條登志子

時おりは電話をくれとはなれ住む子に持たせやるテレホンカード
上野カズ子

俳句

下闇に首欠けもあり百地蔵
宇井 秋汀

麦藁帽声かけるには遠すぎる
鈴木 文二

石蛙二匹ならんで木下闇
高田 昭夫

うたた寝の風鈴の音に目ざめけり
鯉沼 勝子



写真展『おもちゃの思い出』作品募集

◆◆◆ こどもがおもちゃで遊んでいる楽しい写真 ◆◆◆

壬生町おもちゃ博物館では、こどもとおもちゃを題材にした写真を募集しています。
こどもがおもちゃで遊んでいる、ほのほのとした楽しい作品をお待ちしています。

募 集 要 項

- ◆ テーマ
- ◆ 募集期間
- ◆ 募集資格
- ◆ 応募点数
- ◆ 応募方法及び方法
- ◆ 応募賞
- ◆ 展
- ◆ その他
- ◆ 応募先・問合せ先

【おもちゃの思い出】

9月1日(日)～29日(日)

どなたでも結構です(年齢、性別、住所は問いません)
一人1点とし、カラーキャビネ判(サービスキャビネ判含む)で、作品の裏面に住所、氏名、年齢を明記して、おもちゃ博物館に郵送または持参してください。

応募された方には、応募賞を贈呈します。
応募された全作品を、次のとおり展示します。

・展示期間 10月20日(日)～11月10日(日)

審査、表彰はいたしません。

応募作品は、返却しませんのでご了承ください

〒321-02 壬生町国谷2300

壬生町おもちゃ博物館事業課

☎82-7111



千住真理子と仲間たち

室内楽の祭典

千住真理子がオリジナルなメンバーで、楽しい仲間を組織しました。そのメンバーは、全員がN響のメンバーで構成されています。

◎日時 11月16日(土) 開場 午後6時

開演 午後6時30分

◎会場 壬生中央公民館大ホール

◎入場料 2,000円(全自由席)

※入場券は、壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、豊壬生町施設振興公社事務所で取り扱っています。

◎主催 豊壬生町施設振興公社

◎後援 壬生町教育委員会

◎問合せ先 壬生中央公民館 ☎82-0108

豊壬生町施設振興公社 ☎86-7117



町総合公園の修景池南に植えられているコスモスが見ごろです。

皆さんも、黄色やピンクの色鮮やかなコスモスの花を、ぜひ、ご覧ください。

まちのうごき

8月1日現在

総人口	39,907人	(25)
男	19,645人	(24)
女	20,262人	(1)
世帯数	12,408世帯	(19)
	() 内は前月比	

9月の納税等

- 国民健康保険税(3期)
- 国民年金(9月分)

(納期限 9月30日)
納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

寄付

(社会福祉協議会)
(○)数字は寄付回数

金1万円①	田村 喜平様
金5千円⑫	社交ダンスを楽しむ会様
金3万円①	鈴木 勝利様
金5千円⑥	ダンス木曜会様
金3千円①	駅東自治会様

訂正

過日配布しました1996年壬生町勢要覧26ページ「常楽寺」の文中、「車塚にあった廃寺」は「車塚にあった天台密教の大寺」、また「壬生の近世史を綴った壬生氏、鳥居氏」は「壬生の中世史を綴った壬生氏、近世史を綴った鳥居氏」の誤りですので、お詫びして訂正いたします。